

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年9月3日(木)13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他11名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料3について)

- ・評価の類型を表にとりまとめる際には、フローチャートと関連づけ、各々の設備・機器の評価における判断の内容が具体的に分かるように整理すること。

(資料6について)

- ・今回の点検整備については、本来であれば保安規定に基づく予防保全を目的とした点検・保守(青旗作業)である。今後、緊急安全対策で整備した事故対処設備について、他の性能維持施設と同様に、保全作業時により待機除外となる際は青旗作業を適用する記載を保安規定に追加すること。

(資料7)

- ・廃止措置計画用設計竜巻により破損する可能性があるとしている屋上の二次冷却システムについては、今後説明予定の再処理施設の溢水対策において溢水源として設定すること。
- ・再処理施設敷地境界の外側における森林火災のシミュレーション結果を用いた火災影響評価結果が、防火帯外縁でシミュレーションを行った場合と比較して保守的であることを確認する必要があるため、森林火災シミュレーションに影響を与えうる可燃物が、再処理施設敷地内の防火帯外側エリアに存在しないか、又は十分少ないことを示すこと。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：津波防護における引き波の考慮について

資料2：基準津波及び耐津波設計

資料3：分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について

資料4：安全管理棟排水モニタリング設備の更新について

資料5：動力分電盤制御用電源回路の一部変更（その2）について

資料6：移動式発電機の点検整備について

資料7：令和2年8月7日申請の廃止措置計画変更申請書の技術的内容に関する質問への回答

資料8：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について